NIE実践報告

1．タイトル：社会科（公民的分野）の授業で、新聞をどのように活用していくか。

2．学校名

北海道釧路市立美原中学校

3．実践者名（代表者名）

金子雅人

4．学年

第３学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

社会科114名

6．単元（本時の学習課題）名

株を購入し、株式相場の仕組みを実感することで、株式会社のしくみと役割を知ろう。

7．目標(狙い)

新聞の株式欄の記事を活用して、株式シミュレーションゲームを実施し、株主体験をさせることにより株式会社に関心を持ち、新聞やニュースを見る習慣と態度を育てる。

8．評価の視点

・株式会社のしくみと役割についてまとめることができたか。
・株主体験を通して、企業の果たすべき役割について考えをもつことができたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

わたしたちの暮らしと経済（全１6時間）
本時　「会社のしくみと役割」（7／１6）

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

1　株式会社という言葉について知っていることを発表する。
（株券、株主など）
2　株式会社のしくみや株券の果たす役割について理解する。
3　課題を把握する。
（課題「自分ならどの企業の株を購入するだろうか」）
4　新聞記事を参考に、自分が購入する銘柄をまとめる。
（1株の値、購入株数、小計をワークシートに記入）
5　1ヶ月後に同じ銘柄の1株の値を調べ、ワークシートにまとめる。
6　購入した株を全て売り、精算する。
7　株式会社のしくみと役割についてまとめる。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

授業後、多くの生徒が株式会社に興味を持ち、新聞やニュースなどを通して情報を得ようとしていた。
授業後も新聞の株式欄で自分の購入した銘柄の値をチェックし続けている生徒も見受けられた。

12．成果と課題

【成果】
株式会社のしくみについて知らなかった生徒が多く、株主体験をさせることによってその概要を具体的にわかりやすくとらえることができた。
【課題】
普段から新聞を見慣れていない生徒は、株式欄に抵抗感を抱く様子が伺えた。今後、さらに新聞に触れさせることによって、新聞を身近な物として捉え、手に取り、目を通す習慣をつけさせていきたい。